



患者ケアの充実・ACP推進ワーキング(活動)について

「患者さまが安心と満足
の得られるがん医療」
を提供する事を目的に、がん医療推進委員会を発足し、7つのワーキンググループに分かれ活動しています。

そのワーキンググループのひとつである、「患者ケアの充実・ACPの推進ワーキング」を紹介します。

がんの告知から治療過程の中で、患者様の望むケアを一緒に考えて、寄り添うことを目標に、がん診療に携わる医師と外来看護師がメンバーとなり活動しています。

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)は、「人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス」と定義されています。我々ワーキングチームの活動は、「ケアの充実・ACPの推進」を図り、治療中のがん患者様に外来治療の時点から積極的に関わりをもつて介入していくシステムを構築することを目的としています。がん患者様の抱える苦痛や問題を抽出して、主治医を中心に医療チーム(医師・看護師・薬剤師・栄養士・理

学療法士・社会福祉士・事務)で共有して解決・緩和に努めていきます。

患者様からより深く情報を収集し、その声を、外来へ入院を通して関わるスタッフが共有するツールとして「患者サポートシート」と「アドバンスプランニングシート(ACPシート)」を作成しました。がんの告知後、治療開始前の時点で主治医に十分に伝えられなかった思いを拾いあげる「患者サポートシート」、また、患者様の治療経過の中で、状態に応じてお気持ちをお伺いする、「ACPシート」を

「ご本人にお渡しし、今後のがんとの向き合い方を一緒に考えていき、サポートしたいと考えております。患者様・スタッフ問わず、相談・疑問点などあれば、我々WGに気軽に声をかけて頂ければと思います。宜しくお願い致します。」

がん医療推進委員会
患者ケアの充実・ACP推進ワーキング
一般外来師長 喜納 薫
外科 医長 堀 義城

治療と生活の両立のために・・・

治療を受けていく段階で、気になる事や心配事、今の思いを書いてみませんか

- 治療を受けるにあたって気になることを教えてください。
あてはまる項目すべてに印をつけて下さい。
 病気の事をもっと詳しく知りたい
 これからの治療のこと⇒ 手術 薬物治療(抗がん剤等) 痛みの治療
 子供や家族へ病気になるいやすい体質が遺伝するのか
 生活のこと
 その他
自由記載
- これから治療していく中で、周囲に相談できる人はいますか？
(口いる 口いない)
いると答えた方へ ⇒ 家族 友人・知人・パートナー その他
- 現在仕事はしていますか？ (口している 口していない 退職を予定している)と答えた方へ
⇒職場の方に病気の事を伝えてありますか？ 伝えるもしくは、すでに伝えている 伝えるつもりはない
- ⇒病気治療に関して職場からの支援がありますか？ (口ある 口なし)
※治療と仕事の両立のための相談窓口があります。
- 経済的な不安がありますか？ (口ある 口今は大丈夫だが、今後は不安 なし)
あると答えた方へ
⇒口治療費がいくらかかると知りた
 支払いが困難な場合の相談窓口を知りたい ※診療費相談窓口があります。
- 主治医へ自分の気持ちを伝える事ができていますか？
チェックをつけてもあなたが不利になるようなことはありません。
 できています
 どちらかといえば出来る
 どちらかといえば出来ない
 できていない
 どちらでもない

患者サポートシート

アドバンス・ケア・プランニングシート

もしもの時のために、あなたに必要な治療やサポートに対するお考えやどう暮らしていきたいかなど、家族と話し合って思いを書いてみましょう。話し合いが難しい場合は、ご自身の意見だけでもかまいません。あなたにとって、つらくなるような内容が含まれているかもしれません。つらくなった場合は、一旦書くのをやめてもかまいません。すべての回答を埋めるのが難しくければ空欄のままでも構いません。時間がゆっくりある時にご記入下さい。今後の健康状態や環境の変化、気持ちの変化によって何度も書きなおす事が出来ます。

～体調について～

- 気になる症状がありますか？
 食事が取れていない
 睡眠が取れていない
 痛みがある
 その他

～日常について～

- あなたにとって大切にしたい事はなんですか？
 家族や家族との時間を大切にしたい
 自分の事はできるだけ自分でしたい
 趣味を大切にしたい
 仕事や社会的な役割を続けたい
 先々のいるんな事(病気に関すること)を知り、自分で決定していきたい
 その他(下へ自由記載)

アドバンスプランニングシート(ACPシート)